

7

カリグラフィーで
イニシャルキーホルダー

デザイン・制作：森 美也子



用意するもの

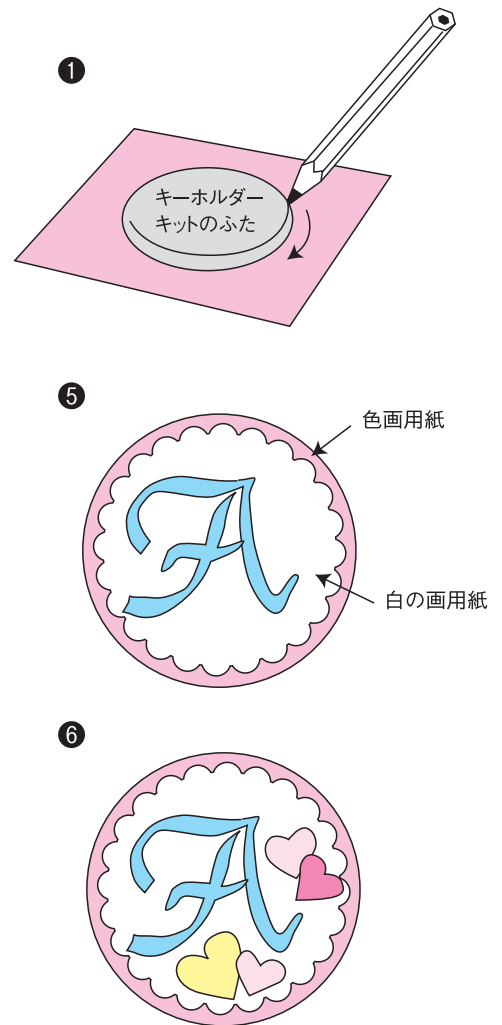
キーホルダーキット（丸型φ54mm）、
カリグラフィーマーカー（ペン先が平たく、
3.5mm 程度の幅の広いもの）、
画用紙（白）、色画用紙、
鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、
はさみ（直線、波型、ギザギザ型など）、
のり、クラフトパンチ（各種）、
スタンプ、シールなど

作り方

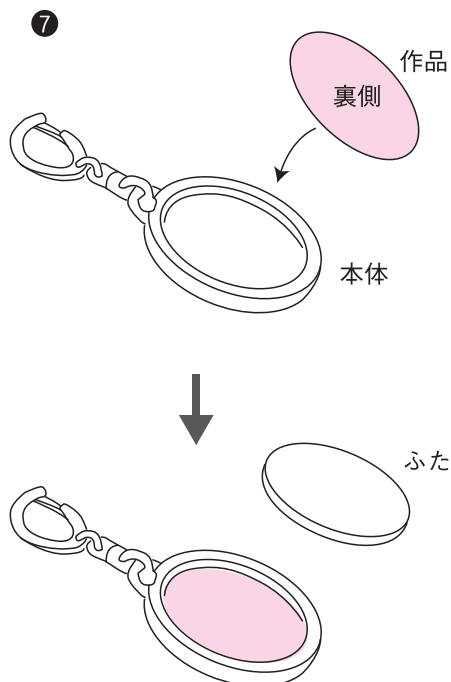
- ①色画用紙の上にキーホルダーキットのふたを置き、ふたのふちを鉛筆でなぞってうすく円を描く。
- ②鉛筆で描いた円の少し内側をはさみで切って、直径54mmの円形にする。
- ③白の画用紙にカリグラフィーマーカーでイニシャルを書く。
- ④イニシャルのまわりにキーホルダーキットのふたを使って円を描き、波型のはさみなどで丸くカットする。このとき、先にカットした色画用紙よりも少し小さい円形になるようにする。
- ⑤色画用紙に、イニシャルを書いた白の画用紙をのりで貼る。
- ⑥余白や裏面は、クラフトパンチやシール、スタンプなどを使って自由にデザインする。
- ⑦中身のデザインができれば、キーホルダーの本体に裏側を上にしてセットし、ふたをはめる。（ふたがある方が裏側になる）

※注意※

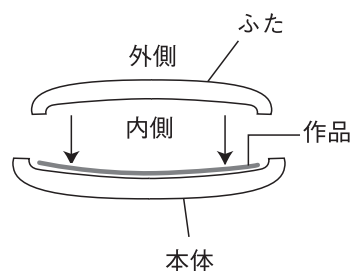
キーホルダーキットのふたには外側と内側があります。間違わないようにセットし、グッととはめこみます。一度はめるとはずれにくくなるので、セットするときには中身が曲がっていないか確かめましょう。



7 カリグラフィーで イニシャルキーホルダー



※注意



イタリック体の基礎 ～カリグラフィーマーカーを使って～

●カリグラフィーマーカーについて

ペン先が平たく、2mm、3.5mm など、いろいろな幅のものがある。マーカーの種類には顔料系と染料系がある。マーカーは速乾性もあるためカード制作などには適している。

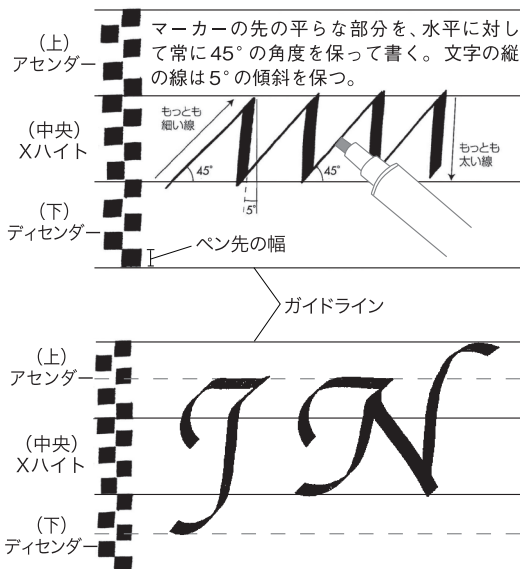
※ガイドラインとマーカーの先の角度

バランスのとれた文字を書くために、鉛筆などで書く案内線をガイドライン（右図の実線）という。

イタリック体には、使うペン先の幅の 5 つ分を単位とした 4 本のガイドラインがあり、基本の文字の高さ（中央）を「Xハイト」、その上を「アセンダー」、下を「ディセNDER」と呼ぶ。

※大文字の書き方

大文字を書く場合、右図のようにアセンダーとディセNDERの、それぞれの高さの中間にガイドライン（右図の点線）を引き、文字の高さの目安にする。



イタリック体の書体見本

文字：森 美也子

